

こんにちは 理事会です

No.2

インターナショナルキャンプ岩手山会場あれこれ

数年前から計画されていた、日本連盟100周年記念「インターナショナルキャンプ」。コロナ感染拡大防止策により、世界中の仲間と現地では過ごすことが叶わなかったものの、全国7ヵ所(7道県)の一つとして、この8月4日(木)から8日(月)に国立岩手山青少年交流の家において開催され、新旧理事、各団の少女・成人会員の応援により無事終了しました。完了できたことは、理事会としても「ほっとしたぁ」というのが本音です。

岩手県連盟の関わりは主に、参加者の受付(書類・発熱等の確認含)、送迎(バス手配含)、ご当地プログラム提供(ひつまみ・さんさ踊り)、緊急車両担当(レンタカー手配・運転手含)、細部にわたるマネージメントでした。

開催数日前までの思いもよらぬコロナ感染者の爆発的な増加、当日の大雨や地震による新幹線到着の遅れ、ここに書き切れない程の大小様々なアクシデントや心配事がありましたが、我が連盟の長所!ブーブー言うものの(私だけかな)的確で迅速な対応により、本大会には何の支障も無く運営できたことは、日本連盟にも感謝してもらいたい点でありますね。もちろん開催中の方が一にも、しっかり備えていた点も!「どうでしょう岩手県連盟の底力!」と自負しています。



色々ありましたが、お見送りをさせて頂いた時の参加者の凛とした背と満面の笑み!「また岩手に来ます」と元気に盛岡駅を後にしてくれました。なんと嬉しく、振り返れば楽しかった。感激と感謝の涙がこぼれます。この事業を通し、岩手県連盟の弱みも強みも再確認しました。もちろん弱みは改善してまいります、強みは益々磨きをかけていけるメンバーで胸が熱くなりました。**「歩み続ける岩手県連盟でいこう」**

大好評だったお出迎え隊とお見送り隊
ありがとうございました!

TOPIC

運営会議内に「茶話会」と題してプチ講習会を取り入れています。今回は長畑副連盟長が講師!二戸の銘菓をご馳走になりながら、監事を担当したときの事、13団の事・・・と盛りだくさんの30分間。最後には宿題「どう楽しみますか?」いつも連盟長が「ますう楽しくさっ!」って口にしているからなのかな?次回は誰からどんなお話聞けるかな?